

三 岩 岳

会 津

1994.2.11~12

L; 鈴木鉄也, 田中健

2/11 (金)

2月のパウダースノウを求めて、三岩岳ミチギノ沢、会津駒ヶ岳と欲ばった計画を立てた。

10時台に会津高原駅を出た満員のバスは、降りしきる雪にノロノロと走る。小豆温泉バス停、スノーシェードのトンネルの中で雪をしのいで身支度する。4年前の3月に登った同じルートと取った。今シーズンは重い雪にいつも苦しめられている。



2/12 (土)

不思議と雪は止んでいた。朝に降り出したとはいえ、細かい雪で空も明るかった。荒れる天気予報なので、空身で往復しようかとも思っていた。でも頂上から三岩のある南東尾根ぐらいは下れるだろうと、テントを持ち上げて出発。

登るにつれ、視界が悪くなる。1580m地点で荷物をデポした。

稜線の針葉樹林帯に入る。頂上付近はいつものように風が強い。前回見つけることができた標識は、探せなかった。

眺望もなく、足下の傾斜さえ見当がつかなくてギャップに足を取られる。我称、「三岩岳の箱庭」ミチギノ沢源頭は諦めて、来たルートを戻った。

下部は木の混んだ登りもあり、約2時間で滑り降りた。

小豆温泉は営業してない様子。大雪となり、バスは勿論、電車まで遅れ遅れて、乗り継ぎながら帰る。

コースタイム

2/11 (雪)

小豆温泉 → 1280m地点
12:30 15:40

2/12 (雪)

出発 → 1580m地点 → 三岩岳 →
7:20 8:20 荷物デポ 10:15

→ 899m地点 → 小豆温泉
12:00 12:30

1994年から村営の小豆温泉は全面改装中となり、'95年国体の山岳競技が窓明山で行われるということで、登山道も新しく整備され、稜線にはログハウス風の避難小屋が建ったということであります。残念ながら、冬期の使用は不可のようです。

鈴木 記